

第5学年社会科指導案

日時 平成24年10月17日(水)
児童 男子13名 女子10名 計23名
指導者 小幡 真理

- 1 大単元名 食料生産を支える人々
小単元 「稲作にはげむ人々」

- 2 単元を展開するにあたって

- (1) 単元について

本単元は、学習指導要領第5学年の目標(2)「我が国の産業の様子、産業と国民生活の関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心を持つようにする。」を受けて、内容(2)「我が国の農業や水産業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりを持って営まれていることを考えるようにする。」のア「様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること。」イ「我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など」ウ「食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産物と消費地を結ぶ運輸などの働き」の学習を通して、我が国の稲作が果たす役割や自然環境との深いかかわりについて考えることができるようにする。

また、児童にとっては、田んぼで実際に餅米を育て収穫してきた今年一年の経験を生かしながら、稲作についての関心や理解を深めやすい単元である。グラフを読み取りながら、稲作農家の悩みや日本の稲作問題とともに農業にかける人々の思いを調べたり、米作りの大切さを考えさせたりしたい。

- (2) 児童の実態

児童は、低学年の生活科で草花や野菜の栽培体験、そして第3・4学年では地域の生産活動として、農家や食品工場の仕事について学習してきた。自分の食生活についても、トウモロコシやブロッコリー栽培を通して、販売の仕事や消費者としての工夫の学習をし、ある程度捉えてきた。しかし、これらの学習は、いずれも身近な地域を対象としており、日本全体あるいは世界とのかかわりから見た食料生産という視点までは、まだ目が向いていない。

また、稲作の学習に関しては、作業や日常の観察などの体験的な学習を取り入れ、近くの田んぼを借りての活動をしてきた。その結果、仕事の流れや大変さについてはわかってはきたものの、それは米作りのほんの一部の作業であり、農家の人々の日々の努力や悩み、問題点等までは実感を伴っていないのが現状である。

1学期から、グラフや地図、資料集の活用を通して、グラフの表題に着目させたり、資料から読み取ったことを自分なりにまとめさせたりして、それを小グループ内や全体の場で発表させる学習を行ってきた。しかし、読み取ったことから「それは、なぜだろう」と新たな問題を生み出し、さらにそのことについて追究することのできる児童や資料を読み取り自分なりに解釈できる児童は少ない。

- (3) 指導について

前単元の「工業生産を支える人々」は、「自動車」という自分の生活に身近な工業製品を取り上げて考えさせることによって、よりよいものを作るための努力や人々の思い、生産効率や働きやすさの追究、工場の立地条件などについて、金ヶ崎にある関東自動車岩手工場を実際に見学し具体的に調べさせることで、関心や理解を高めさせてきた。

本小単元でも米の生産量が増えてきたわけについて考えさせ、農家の具体的な工夫や努力、生産や輸送に関する費用や価格など多面的に理解させていきたい。

教科書の農家の方と指導をいただいたボランティアティーチャーさんとを重ね合わせ、その仕事

や苦勞に気づかせ、一人ひとりが調べまとめた新聞の内容（米の種類や産地など）も盛り込みながら、授業を組み立てていきたい。

(3) 指導に当たって

工業生産で学んできたことを生かしながら、「生産者の思いや願い」だけでなく、「消費者側の立場」また「5年生としてできること」の三つの視点を与え、米作りについての安全性や環境について、国内生産の重要性、農業は人間が生きていくために欠かせない重要な産業であること、またやりがいのある仕事であることなど自分なりに考えをまとめさせたい。

3 単元の目標

- 日本の農業について調べ、食料生産に携わる人々が生産を高めるために工夫や努力をしていることや生産や輸送に関しての費用や米の価格に目を向け、日本の農業の現状と課題を捉えさせる。
- 食料生産に関する写真や地図、統計などの資料を収集・選択し、国民生活を支える食料生産の意味や自然環境と深い関わりがあることなど、多面的に考えることができるようにする。

4 単元計画と評価規準

過程	時数	<中・小単元> 学習活動	資料	評価
小 単 元 8・ 時 間	1	<オリエンテーション> 自分たちが調べたことを整理しながら、稲作の盛んな地域をおさえるとともに、米作りについての小単元を貫く学習課題を設定する。	・日本白地図 ・掲示用地図	○<関・発言・総合の新聞、ノート> 多様な品種や生産地の情報に接し、稲作への興味・感心を持ち、学習計画を立てようとしている。
	1	南魚沼市ってどんどこ ・南魚沼市の様子を写真や地図、グラフなどで調べ、土地や気候の特色をおさえるとともに、米作りがさかんなわけについて考える。	・教科書の写真 ・土地利用図 ・円グラフ	○<技・表> 写真資料や土地利用図、グラフから捉えた特徴を稲作と関連づけて稲作が盛んな理由を考え、表現している。
	1	よい土、日当たり、水管理 ・米づくりの工夫について調べ、自然環境との関わりから大切な仕事の条件に気づく。	・教科書 ・資料集 ・農業とわたしたちの暮らし	○<知・理、ノート> 農家の人たちが、米作りでどのような仕事をしているか理解している。 ○<思考・判断・表現> 米作りには自然環境がどのように関わっているかを考え、適切に表現している。
	1	米づくりの仕事① ・教科書の農家の米作りと自分たちの米作り体験を比べるとともに、資料を見て米の生産量が増えてきたわけを予想する。	・米の生産量のグラフ ・観察カード	○<思 発言・ノート> 米作りを通して、稲の成長の条件や農家の人たちの工夫や努力、苦勞に気づき適切に表現している。
	1	米づくりの仕事② ・米の生産量が増えたわけを調べ、米づくりの工夫や努力がわかる。	・教科書 ・資料集 ・農業とわたしたちの暮らし	○<思 発言・ノート> 米の生産量が増えてきたわけを、米作りの工夫や努力と関わらせて予想し、調べる。

	1	農家の心配 ・グラフから稲作農家の悩みや日本の稲作の問題を読み取り、日本の稲作問題について明らかにする。	・教科書のグラフ ・コシヒカリの日本米とアメリカ米の価格比較	○<技・ノート> グラフの線の動き方に注意しながら、変化の様子を読み取っている。・コシヒカリの日本米とアメリカ米の価格
	1	花泉産コシヒカリ、アメリカ産コシヒカリ、タイ米の試食をし、安全性やおいしさを感じさせたい。	・比較するお米三種	○<思 発言・ノート> ・コシヒカリの日本米とアメリカ米の価格比較から味を比べることにより、おいしさや安全性がわかる。
	1 本時	土とともに生きる喜び ・農業の魅力や米作りの大切さについて、自分の考えをまとめて話し合う。	・教科書 ・インタビュー	○<思・発言・ノート> 稲作農家の人たちの思いや願いから、農業ならではの仕事の良さや、米作りが自分たちの暮らしに深く関わる大切な仕事であることに気づき、適切に表現している。

5 本時の学習

(1) 本時の指導

前時までに学習した内容や本時に調べた農家の喜びや願いをもとに、農業は国民の食生活を支えている重要な産業であることをおさえさせたい。また、それは、農家の「思い」によって農業が支えられている面にも注目して学習を進めたい。本時は、本小単元の終末として、これからの米作りについて自分なりの考えを持ち、小グループや学級全体の中でそれを伝えあう活動を行う。

(2) 目標

生産者の努力や工夫、喜びや願いを調べ、これまで学習してきたことをもとに、農業の魅力や米作りの大切さについて考えることができる。

(3) 手立てとのかかわりから

資料から必要な情報を読み取ったあとで、友達の考えたことと比較・関連づけ・統合しながら自分の考えを再構成するようノートに表現させていきたい。(手立て1)

小単元で学んだことをもとに、これからの自分が生活の中でどのように関わっていききたいか、自分の考えを広げ、深めるための言語活動を通して、我が国の米の生産の発展について社会参画しようとする態度を育てたい。(手立て2)

(4) 評価規準

	評価規準	具体的評価規準A	具体的評価規準B	支援の手立て
評価	<思考・判断・表現・ノート・発言> 稲作農家の人たちの思いや願いから、農業ならではの仕事の良さや、米作りが自分たちの暮らしに深く関わる大切な仕事であることに気づき、表現している。	稲作農家の人たちの思いや願いから、農業ならではの仕事の良さや、米作りが自分たちの暮らしに深く関わる大切な仕事であることに気づき、適切に自分の意見を述べる事が出来る。	資料を通して、稲作農家の人たちの思いや願いがわかり、これからの米作りについて自分の意見をまとめることができる。	稲作農家の人たちの思いや願いがわかる資料や、今まで学習してきた掲示やノートを示しながら、読み取りや文の組み立て方の支援を行う。

(5) 展開

	学習活動と内容	指導上の留意点・評価方法（*）	資料
課題の把握 2分	<p>1 前時の学習を想起する</p> <p>2 学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>なぜ、稲作農家の人たちは、多くの問題を抱えながらも、前向きに米作りを続けているのだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 前時で出された悩みやグラフを提示しておいて、想起させやすいようにする。 日本のブランド米の種類の高さ、今井さんの笑顔の写真から、本時の課題に結びつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時のグラフ（掲示） 児童の米新聞 教師資料
問題の追及 28分	<p>3 予想を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> 食べた人に喜んでもらうため 米作りが好きだから 収穫の時、うれしいから <p>4 教科書の資料を使い自分で調べる</p> <p>「工夫・努力」</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地直送や直売・顔写真（安心） 無洗米・無農薬・有機栽培（安全） 大規模農業（価格を下げる） 仕事の共同化（経費削減） 収穫高や天候への対策（研究） <p>「喜び」</p> <ul style="list-style-type: none"> 収穫の喜びがあるから 食べた人に喜んでもらえるから 自然と一緒に仕事することが楽しいから 昔からの米作りを引き継いで、この仕事に誇りを持っているから <p>「思い・願い」</p> <ul style="list-style-type: none"> T P Pの問題 自分の作ったお米を食べてもらいたい 日本の農業を守りたい たくさん売って収入を得たい。 農家以外の人にも米作り体験をしてみたい、そのすばらしさを知ってもらいたい お年寄りの経験や知恵を学びたい インターネットで他の地域とも交流したい 	<ul style="list-style-type: none"> 予想をもとに「工夫・努力」「喜び」「思い・願い」の三つの視点を与える。 * 視点をもとに、教科書と別紙資料などからノートにまとめ、調べたことを出し合うことができる。 (ノート・発言) 「思いや願い」があるから「問題を解決するための工夫や努力」をし、「喜び」へとつながっていることをおさえさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 別紙資料

	<p>5 ボランティアティーチャーさん (菅原 操さん) へのインタビューを聞き、学習課題のまとめをする。</p>	<p>インタビューを聞いたあとで、本時の課題についてまとめを書かせたい。</p> <p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>稲作農家の人たちは、たくさん の問題を抱えながらも、 (思いや願いがあるから、工夫や努力をして) 前向きに米作りに取り組んでいる。</p> </div>	<p>ビデオ</p>
<p>ひろげる 15分</p>	<p>6 これからの米づくりについて、自分 なりの意見をグループで発表する</p> <p>7 全体で交流し、今日のまとめをする</p>	<p>・生産者の工夫や努力だけでなく、消費者の立場や5年生の立場としてこれからしていきたいことなども視点を与え気づかせていきたい。</p>	

ノート (例)

日にち	ページ
<p>課題</p>	<p>まとめ 稲作農家の人たちは、たくさん抱えながらも、 (思いや願いがあるから、工夫や努力をして) 前向きに米作りに取り組んでいる</p>
<p><予想></p>	<p><意見> これからの日本の米作り</p> <p>① 生産者 (農業をしてる者として)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 農業する人をふやす・ 農業体験する機会を増やす・ 安心・安全な米の生産 <p>or</p> <p>消費者 (お米を買うものとして)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 少し高くても、おいしくて安全な国産の米を買う <p>↓</p> <p>② 5年生として</p> <ul style="list-style-type: none">・ パンより米を食べる・ ご飯を残さないで食べる
<p><自分で調べたこと></p>	
<p><友達の考え・板書の書き込み></p>	

板書計画

日にち ページ

課題

なぜ、稲作農家の人たちは、多くの問題を抱えながらも、前向きに米作りを続けているのだろうか。

まとめ

稲作農家の人たちは、たくさんの問題を抱えながらも、思いや願いがあるから、工夫や努力をして、前向きに米作りに取り組んでいる。

予想

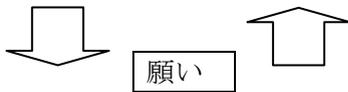
- ・
- ・
- ・

喜び

食べた人に喜んでもらえる
自然と一緒に仕事することの楽しい
仕事に誇りをもっている



機械や仕事の共同化・・・価格競争に勝つため
大規模農業・・・値段を下げる試み
安心・・・生産者名・産地直送
価格・・・インターネット販売
環境・・・無洗米、減農薬、有機栽培



T P P 問題
自分の作ったお米を食べてもらいたい
日本の農業を守りたい
たくさん売って収入を得たい。
米作り体験すばらしさを知ってほしい
お年寄りの経験や知恵を学びたい
他の地域とも交流したい

意見

これからの米作り

① 米作りをしているものとして・・・

or

お米を買うものとして・・・

② 自分は・・・

問題点

T P P 田んぼ減 米余り あとつぎ問題
外国米との価格競争 自給率減